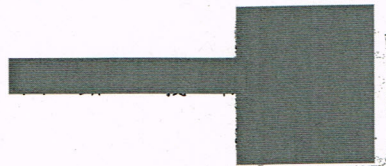


| | |
|-------------|---|
| | <p>保護者の意見として上がったのは、今までの指導は、部員に悪いところがあり、そのための指導であったと思っている。部員がのびのびと楽しく部活動に取り組んでいることを喜んでいる。■■■■教諭の体調不良が原因ではないかと心配をしていた。そういう場合は保護者に率直に相談してほしい。保護者会が開かれると聞いて部員も心配をしていた。前任校でトラブルがあったことは聞いたことがあるが、それは過去のことで、現在の指導には不満はない。■■■■教諭が部員に多くの試合を経験させたいという考えに賛成している。</p> <p>これからも子どものため、先生のために精一杯バックアップをしていきたいなどの意見が出た。今後の指導・運営の在り方としては顧問と後援会がしっかりとコミュニケーションを取りながら部員の技術力向上に努めていくことを確認した。</p> |
| 5 校長の指導及び所見 | <p>(1) 今回の不適切な指導については、常日頃から指導しているが、問題になったことは、校長として深く反省している。</p> <p>(2) 第三者からの通報で不確かなことが多く事実をはっきりとつかむことはできなかったが、早めに対応でき、保護者から■■■■教諭の指導への賛同を受けたことはよかった。</p> <p>(3) ■■■■部の保護者からは、■■■■教諭の指導に感謝の言葉やあたたかいねぎらいの言葉だけで、改善してほしいことや不信感を感じられなかった。しかし、様々な人々が見ていることを自覚しなければならないと感じた。</p> <p>(4) ■■■■教諭には、人として常識的な行動をとること、特に言動には十分注意をするよう指導した。感情的な言動で、誤解を受けることのないように自制することを諭した。</p> <p>(5) 教職員には、言葉で威圧したり、物にあたったりしても問題解決にはならないことや子どもに理解させる工夫を行ってこそ教育者であることを話した。感情的な態度にならないためにもチームの大切さを訴えた。</p> |
| 6 市町村教育長所見 | |
| 7 教育事務所長所見 | |

令和2年11月18日

都城市立■■■■校 校長



都城市教育委員会 教育長

児玉 晴 男



南部教育事務所 所長

佐々木 孝弘 印